

# 7 ブレーキ

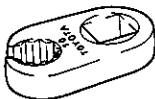
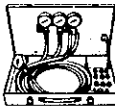
変更概要	7-2
ブレーキブースター	7-2
準備品	7-2
機能点検	7-2
ブレーキブースターテスター使用点検	7-2
トラクションコントロール (TRC)	7-4
準備品	7-4
部品配置図	7-5
単体点検	7-6
スロットルバルブモーター	7-6
スロットルポジションセンサー	7-6

## 変更概要

トヨタ マークII, チェイサー, クレスタ修理書/追補版(品番62118, 1989年8月発行)の内容に以下の項目を変更および追加します。

- 1 ABS, TRC装着車のマスターシリンダーは, 内径を変更しましたが分解, 組み付け要領は従来と同様です。
- 2 ブレーキブースター機能点検基準値の追加。なお, 教習車補助席側は従来と同様です。
- 3 1JZ-GE, 1JZ-GTE搭載車のPバルブの点検基準値は, 7M-GE搭載車および従来の1G-GTE, 1G-GZE搭載車と同様です。
- 4 1JZ-GE, 1JZ-GTE搭載車のTRC部品配置図およびスロットルポジションセンサー点検要領。

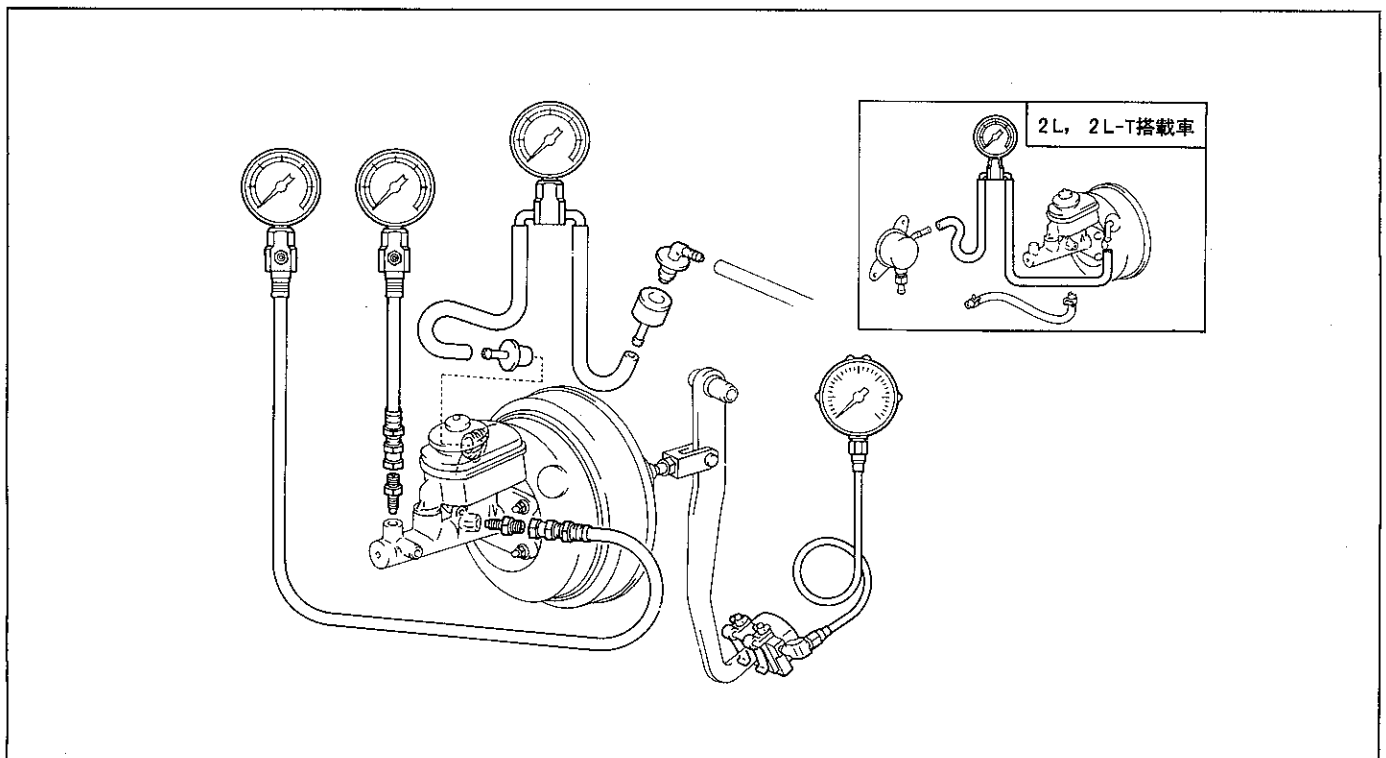
## ブレーキブースター 準備品

工 具		09023-00100 ユニオンナットレンチ	ブレーキチューブ切り離しおよび接続用
計 器		(株)バンザイ 扱い BBT-1TB ポータブルブレーキブースター テスター	ブレーキブースター機能点検用
油 脂 その他	トヨタブレーキフルード2500H		ブレーキエア抜き用

## 機能点検

### ブレーキブースターテスター使用点検

#### 1 テスター接続



X6980

## 2 気密機能点検

- (1) エンジンを始動し、負圧計が500mmHgになったらエンジンを止め、負圧の変化を点検する。

基準 エンジン停止後、15秒間負圧の低下がない

## 3 負荷気密機能点検

- (1) エンジンを始動し、踏力20kgでブレーキペダルを踏み続けて負圧計が500mmHgになったらエンジンを止め、負圧の変化を点検する。

基準 エンジン停止後、15秒間の負圧低下が25mmHg以内

## 4 倍力作動点検

- (1) エンジンを停止し、負圧計の読みを0にして、踏力とマスターシリンダー油圧の関係を点検する。

基準値

踏力 (kg)	油圧 (kg/cm <sup>2</sup> 以上)		
	9インチ	7+8インチ	8+9インチ
15	5	4	3
30	18	15	13

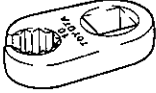
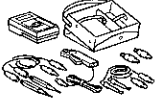
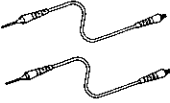

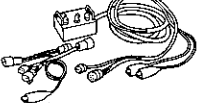
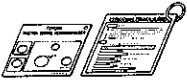

- (2) エンジンを始動し、負圧計が500mmHgになったらエンジンを止め、踏力とマスターシリンダー油圧の関係を点検する。

基準値

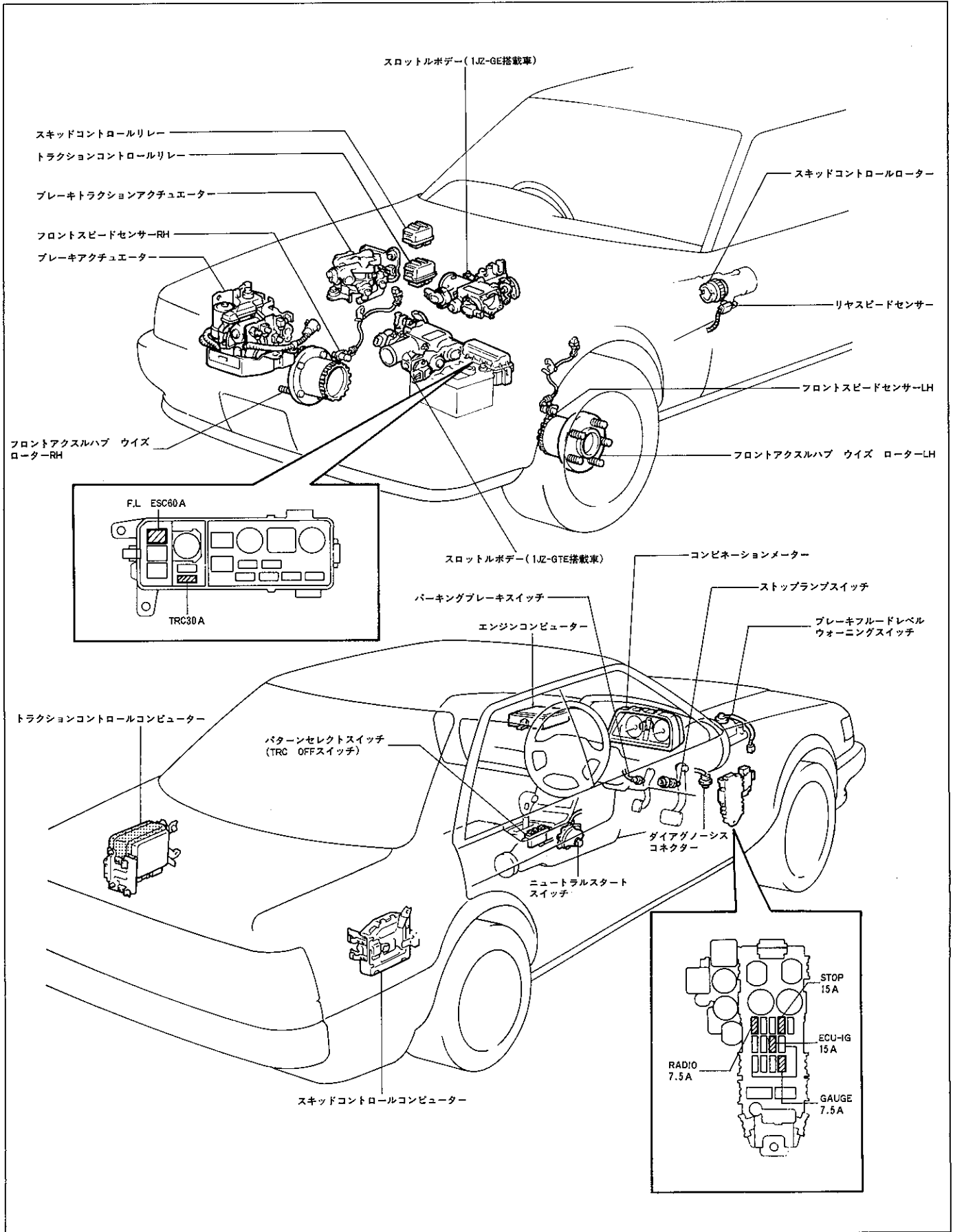
踏力 (kg)	油圧 (kg/cm <sup>2</sup> 以上)		
	9インチ	7+8インチ	8+9インチ
5	10	13	14
10	29	31	36
15	47	51	59
20	65	71	81

# トラクションコントロール (TRC)

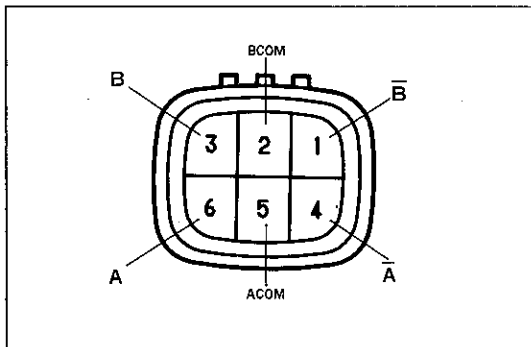
## 準備品

工 具		09023-00100 ユニオンナットレンチ	ブレーキチューブ切り離しおよび接続用
計 器		09082-00012 トヨタ電気カルテスター	各部点検用
		09083-00060 ミニテストリード	各部点検用
		09843-18020 ダイアグノーシスチェックワイヤ	ダイアグノーシスコネクター短絡用
		09990-00141 ABSアクチュエーターチェッカー - アンド サブハーネス	トラクションアクチュエーター点検用
		09990-00190 TRCアクチュエーターチェッカー - シート	
	09990-00195 TRCアクチュエーターチェッカー - サブハーネス		
油 脂 その他	トヨタブレーキフルード2500H		ブレーキエア抜き用

# 部品配置図



7



S-6-2-F

## 単体点検

### スロットルバルブモーター

- (1) 各端子間の抵抗を測定する。

基準	ACOM-A端子間	0.5~1.0Ω
	ACOM-Ā端子間	0.5~1.0Ω
	BCOM-B端子間	0.5~1.0Ω
	BCOM-B̄端子間	0.5~1.0Ω

### スロットルポジションセンサー

#### 1 JZ-GE搭載車

##### 1 サブスロットルポジションセンサー点検

**注意** 点検はスロットルボデーASSYで行う。

- (1) Vc-E<sub>2</sub>端子間の抵抗を点検する。

基準値 4~8.5kΩ

- (2) サブスロットルバルブを全閉から全開にしたときのV<sub>TA2</sub>-E<sub>2</sub>端子間の抵抗の変化を点検する。

基準 サブスロットルバルブの開度に伴い、抵抗値は増加する

参考値 全閉時……0.2~0.6kΩ

全開時……3.3~10kΩ

- (3) スロットルバルブモーターを取りはずす。

- (4) サブスロットルバルブを全閉状態にし、シクネスゲージを図に示す位置に差し込み、IDL<sub>2</sub>-E<sub>2</sub>端子間の導通を点検する。

基準 0.30mm……導通あり

0.50mm……導通なし

- (5) スロットルバルブモーターを取り付ける。

##### 2 メインスロットルポジションセンサー点検

**注意** 点検はスロットルボデーASSYで行う。

- (1) Vc-E<sub>2</sub>端子間の抵抗を点検する。

基準値 4~8.5kΩ

- (2) メインスロットルバルブを全閉から全開にしたときのV<sub>TA</sub>-E<sub>2</sub>端子間の抵抗の変化を点検する。

基準 メインスロットルバルブの開度に伴い、抵抗値は増加する

参考値 全閉時……0.2~0.6kΩ

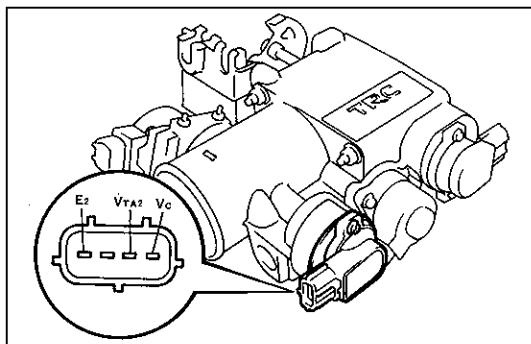
全開時……3.3~10kΩ

- (3) サービスホールからスロットルレバーとストップスクリーユの間にSSTを差し込み、IDL-E<sub>2</sub>端子間の導通を点検する。

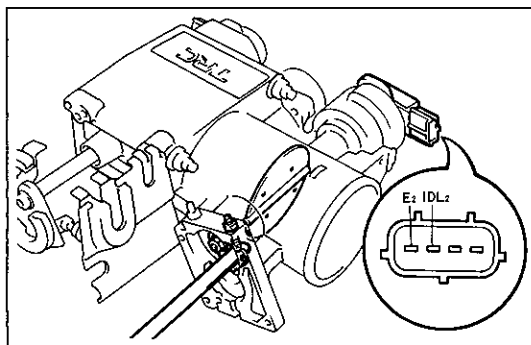
SST 09203-00020

基準 0.40mm……導通あり

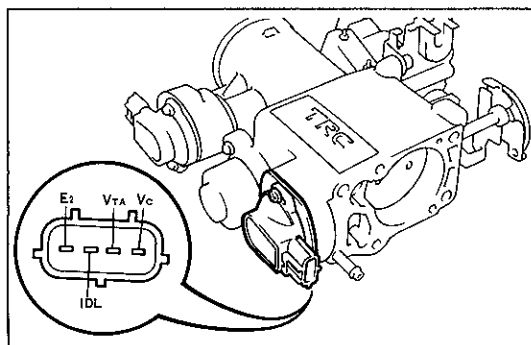
0.55mm……導通なし



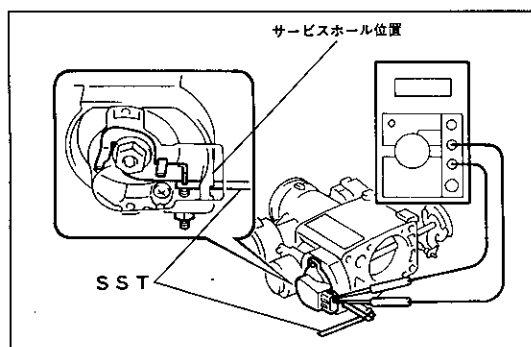
X6382



X6383



X6384



R7224

1 JZ-GTE搭載車

1 サブスロットルポジションセンサー点検

**注意** 点検はスロットルボデーASSYで行う。

- (1) Vc-E<sub>2</sub>端子間の抵抗を測定する。

基準値 4.25~8.25kΩ

- (2) サブスロットルバルブを全閉から全開にしたときのV<sub>TA2</sub>-E<sub>2</sub>端子間の抵抗の変化を点検する。

基準 サブスロットルバルブの開度に伴い、抵抗値は増加する

参考値 全閉時……0.2~0.6kΩ

全開時……3.3~10kΩ

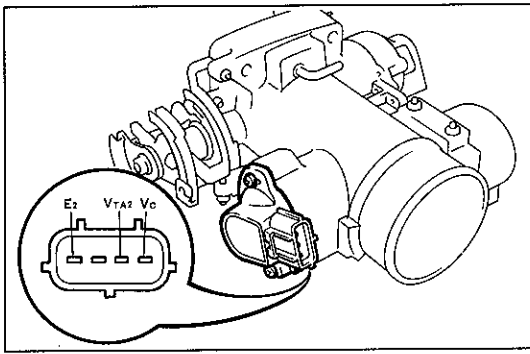
- (3) スロットルバルブモーターを取りはずす。

- (4) サブスロットルバルブを全閉状態にし、シクネスゲージを図に示す位置に差し込み、IDL<sub>2</sub>-E<sub>2</sub>端子間の導通を点検する。

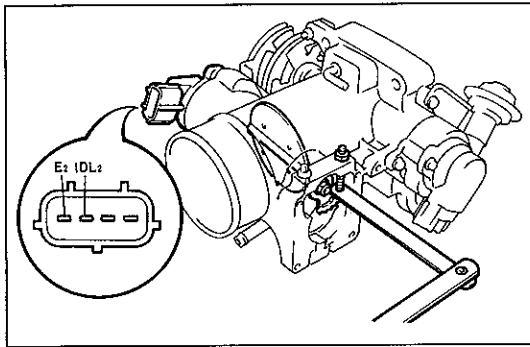
基準 0.30mm……導通あり

0.50mm……導通なし

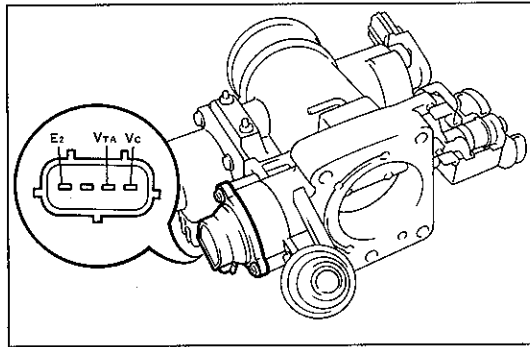
- (5) スロットルバルブモーターを取り付ける。



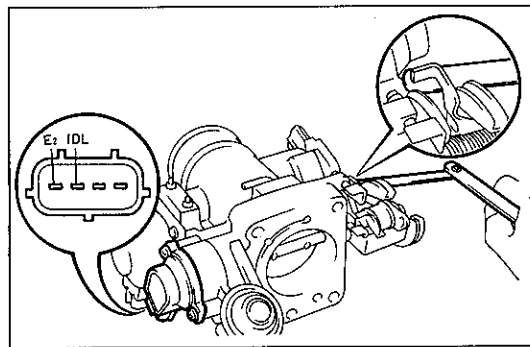
X6385



X6386



X6387



X6388

2 メインスロットルポジションセンサー点検

**注意** 点検はスロットルボデーASSYで行う。

- (1) Vc-E<sub>2</sub>端子間の抵抗を点検する。

基準値 4.25~8.25kΩ

- (2) メインスロットルバルブを全閉から全開にしたときのV<sub>TA</sub>-E<sub>2</sub>端子間の抵抗の変化を点検する。

基準 メインスロットルバルブの開度に伴い、抵抗値は増加する

参考値 全閉時……0.2~0.6kΩ

全開時……3.3~10kΩ

- (3) スロットルレバーとストップスクリューの間にシクネスゲージを差し込み、IDL-E<sub>2</sub>端子間の導通を点検する。

基準 0.24mm……導通あり

0.48mm……導通なし

---

MEMO